



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax25-8204
ホームページ www.jcp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@jcp-isesaki.net

一般会計
予算質疑

具体的提案で市民要望を実現
―党議員団と市民の取り組みが実る

伊勢崎市の新年度予算総額は、前年度比でプラス1・0%の705億円です。

長引くデフレの影響で個人市民税は減収の見込みですが、地方交付税は昨年度の決算額を勘案し増額となりました。

議員団を代表し、長谷田市議が質疑しました。

住宅リフォーム助成

市民要望受け継続に

住環境の改善と地域業者の仕事おこしに寄与し、ひいては地域経済の活性化につながる「住宅リフォーム助成」制度は、大好評でした。

この制度は、日本共産党議員団が一般質問等でくり返し取り上げ、各業者団体などからも実現を求める声があり、昨年度実施したもので

す。

単年度の予定でしたが、経済効果が大きいため新年度も1億円の予算を計上。前年度同様に「10万円以上の工事に30%の補助、上限20万円」としました。

党議員団は、予算審議で申請書類の簡素化などを求めました。

市長は、「昨年度の実績を踏まえ改善点を検討し、使いやすいものにした」と答弁しました。

小学校の「英語科」

全授業複数体制に

伊勢崎市では新年度より、小学校の全学年で週1時間の「英語科」の授業を開始します。

党議員団や「いせさきの教育をよくする会」などが、「実施には十分な市

民合意を」、実施する場合は「すべての授業に担任と、英語活動支援助手から外国人の英語講師が入る複数体制を」と求めてきました。

教育長は、「英語活動支援助手を増員し、すべての授業を担任と英語の専任助手・講師との複数体制で行えるよう指導体制を強化する。学校・学級の実態に応じて、弾力的に少人数指導を取り入れる」との考えを示しました。

「担任一人だけで実施する授業も出る」としていた対応をこの間の要請や議会活動で大きく改

善させることができました。しかし、「少人数授業のため特別の講師配置はしない」とのことで、課題が残ります。

また、「英語嫌いの子をつくらないため通知表は文章評価とし、3段階評価（良くできる、できる、もう少し等）はやめるべき」と提案しましたが、教育長はあくまで3段階評価を行うという答弁でした。

子ども達や先生方の負担とならないよう、見守りつつ改善を求めていきたいと思います。



他の質疑項目

- ・不登校対策と学校施設整備
- ・金融円滑化法終了への対策と地元産業振興策
- ・滞納対策として、生活実態に見合った分納と生活・経営存続への配慮
- ・伊勢崎駅周辺開発の住民本位の見直し・進行を